

## 南極レポート（第1回） 『第48次隊オンエア！』

日本のみなさん、こんにちは。

48次隊8J1RL運用責任者の若生です。

国内では南極観測50周年記念局8J1ANTが、昨年11月より隊員OBや関係者により、来月3月末まで運用が行われております。各局もうすでに交信されたでしょうか？記念局と毎月1回、8J1RLとスケジュールQSOが行なわれており、早速48次隊も2月、3月の交信を目指し立ち上げを行いました。48次隊の8J1RL運用有資格者は10名程おり、特に47次隊で運用が行われなかったので開局を待ち望んでいる局が多いかと思えます。



写真1：運用者による開局式

2月18日、休日日課を利用し機械隊員の協力により、アンテナ整備を行いました（写真2参照）。前次隊で運用が無かったわりには強風によるエレメントの変形（今後の強風で折損間違いなし）だけで大きなトラブルはない模様、アンテナ方向はJA方向に固定設置されており、まさに大陸からの吹き降ろしで強風方角を向いております。エレメント全てが綺麗に風下方向へ曲がっており、改めて風の強さを再認識しました。整備終了後、早速シヤックへ集合し8J1RLの開局式（写真1参照）を行い運用開始致しました。コンディションも良くないこの時期は運用時間、周波数帯を選ばないとJAとの交信は難しく、春先のコンディション上昇が期待されます。

2月24日、JARL事務局から南極観測50周年記念局8J1ANTとのスケジュールQSOが行われ、当日心配されたコンディションも無事14MHzのSSBで互いの近況報告QSOが出来ました。コンディションによる不確定要素、これがアマチュア無線の面白さではない



写真2：高所作業車を使用しアンテナ（10, 18, 24MHz帯用）の整備



写真3：アンテナと背景に氷山群

でしょうか。スケジュールQSO終了後の交信では、短時間の運用にも関わらず多数のJA局と交信して頂きました。

昭和基地の位置は南緯 69 度 00 分、東経 39 度 35 分です。日本（東京）からは大圏コースでおおよそ 205 度、約 14000km の方向にあります。日本との時差は6時間です。48 次隊は来年 2 月まで業務の空き時間を利用し、オンエアしますのでお相手宜しく願いいたします。

(第 48 次日本南極地域観測隊 若生公郎 JH7QLR 2007 年 2 月 25 日 )